

別記様式（第6条関係）

令和7年8月25日

清水町議会議長 山下清美 様

清水町議会議員 中河つる子

## 研 修 報 告 書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

### 記

- 1 研修名（主催者） 議会広報研修会（北海道町村議会議長会）
- 2 研修日時 令和7年8月19日（火）
- 3 研修先 ポールスター札幌（札幌市）
- 4 研修目的 議会の活性化に資するため。
- 5 成果（具体的に）

議会広報クリニック 講師 議会広報サポーター 芳野 政明 氏

「議会の『見える化』&住民との『信頼築く』議会広報の基本と編集」

#### 1, 議会広報の基本と編集

議会広報の役割—住民の福祉や暮らしに関わる議会の活動状況を知らせ、政策・制度への関心を高める。議会が何をしているか、知ってもらう。

- ◆ 住民と情報共有—議会審議や諸活動の経過を伝え、議会への関心や認知、参加意欲を高め、住民と議会をつなぐ役割。
- ◆ 住民と対話促進—対話を通して意見や要望を収集、議会に反映させ、住民ニーズに添った政策制度につなげる。
- ◆ 議会に関心高め—広聴広報活動を通して議会活動の透明性や公平性を高め、関心と理解を深め、参加を促す。
- ◆ 議会の活性化へ議会広報を通して議会活動の成果を伝えることで、活動活性化、役立つ議会につなげる

#### 2, 議会広報とは・・・ 行政広報にない重要な役割

— 自治体の「政治」を公開し、議会が住民に近づく手段

- 1, 議案審議内容と議会活動の公開（議事機関の広報）
- 2, 住民の声・意見を代弁し、共有する。

(民意を反映する住民代表機関、住民自治の窓口)

- 3, 執行機関の監視・チェック事項の広報(監視機能)
- 4, 政策や条例の提案、調査事項を広報(調査提言機能)
- 5, 地域の多様な意見の反映、論点を整理・公開  
(合議制の機関=争点を整理、提起)
- 6, 議員の賛否態度の公開  
(議決機関、議会の透明性、説明責任)

## 2, 議会広報の進化へ

- ① 住民読者を念頭に住民目線の企画編集を  
—住民が自己の生活と議会の諸活動が繋がっていることを周知
- ② 「カタイ、難しい！」から「読みたくなる情報紙」へ  
—内容が硬い、用語が難しい、読む気になれないからの脱却
- ③ 住民参加・協働の広聴企画で「自分ゴト化」へ  
—議会と町民との一体化の推進へ。読者ニーズに応える企画編集
- ④ 他の広報媒体と連携・補完・分担など駆使へ  
—限られた紙面での情報提供の不十分さを克服する広報計画を

## 3, 編集方針；目的・目標をもって企画・編集をする。

- ① 読まれ、親しまれ、役に立つ。
- ② 議事・議会活動を的確に伝える。
- ③ 読みたくなる紙面

これらを念頭に置いて議会便りを作ってゆきたいと思いました。

## 研修レポート（山本奈央）

北海道町村議会広報研修会（8月19日・火）

テーマ：「議会の見える化」&「信頼築く」議会広報の基本と編集

講師：議会広報サポーター 芳野政明 氏

### 1. 議会広報の役割

住民が議会との「つながり」を実感できるようにする。

議会の活動や政策を伝え、住民の関心を高める。

住民と情報を共有し、対話を促進。

議会への信頼を高め、活性化につなげる。

### 2. 信頼される議会への視点

「身近で遠い議会」から「存在感のある議会」へ。

議会は本質的に「メディア的」性格を持ち、住民の声を反映し、過程を公開する役割がある。

行政広報では伝えきれない「政治の情報」を届けることが議会広報の使命。

### 3. 開かれた議会に必要な要件

1. 住民の意見を聴き、反映する議会
2. わかりやすく「見える化」された議会

### 4. 議会だより発行の目的

情報共有・民意反映・見える化・説明責任

信頼醸成・住民参加・住民自治・存在認知

「情報なくして参加なし」—広報は住民参加の前提である。

### 5. 全国コンクール優秀事例の特徴

1. 組織的に検討された編集方針と工夫
2. 議員報告だけでなく、住民の声を実名・写真付きで掲載
3. 議事録羅列ではなく、関心の高い議案をわかりやすくピックアップ
4. 住民の意見を踏まえた特集や問題提起型の構成
5. 見出しや写真の工夫で「読みたくなる」紙面づくり

### 6. 議会広報の進化方向

1. 住民目線で企画・編集
2. 難解な報告から「読みたくなる情報紙」へ
3. 住民参加・協働による「自分ゴト化」

#### 4. 他の媒体との連携・補完

#### 7. 編集方針と企画立案

目的を持った編集：

- ①読まれ、親しまれ、役立つ
- ②議会活動を的確に伝える
- ③読みたくなる紙面に

企画の5要素：テーマ・ねらい・切り口・素材・展開

#### 8. 清水町での今後の取り組みアイデア

行政で購入したものを写真で掲載し、イメージを持ってもらう。

議会だよりと行政広報紙の比較・連携（重複を避ける）。

予算の使い道を具体例と写真で紹介。

例) 環境保全活動の作業風景

例) 中小企業支援金を活用した事業者紹介

#### 9. まとめ

議会広報は、住民に「議会が自分たちの暮らしに直結している」と感じてもらうための重要な手段である。今後は清水町でも世代を超えて住民が政治や議会に関心を持てるよう、広報・公聴活動をさらに工夫していきたい。

別記様式（第6条関係）

令和7年9月26日

清水町議会議長 山下 清美 様

清水町議会議員 橋本 晃明

### 研 修 報 告 書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

#### 記

- 1 研修名（主催者） 北海道町村議会議長会議員研修会（北海道町村議会議長会）
- 2 研修日時 令和7年8月19日（火）
- 3 研修先 ポールスター札幌（札幌市）
- 4 研修目的 議会の活性化に資するため。
- 5 成果（具体的に）

「議会の「見える化」&住民と「信頼築く」 議会広報の基本と編集

議会広報サポーター 芳野 政明 氏

#### 講演要旨

住民と議会とのつながりを実感してもらう

投票率低迷、無投票、議員のなり手不足 → 議会の信頼性問われる事態

議会の信頼を取り戻す（大山礼子駒沢大教授）

住民各層の意見反映、議会の多様性

監視機能や提案機能の発揮、議会の活性化

広聴広報で情報共有、住民との信頼獲得へ

議会は本質的に「メディア的」性格を持つ

自治体の2大情報（松下圭一氏）

広報情報（政策決定後）

政策情報（決定前）

情報・意見の集約機構としての議会

議会広報とは 行政広報にない重要な役割

開かれた議会へ2大要件

意見を聞き反映させる議会

見える化 わかりやすい議会

## 住民参加を促す議会広報

情報なくして参加なし

### 優秀紙の共通点

1. 役割・目的を検討、編集方針を持って編集
2. 住民の意見・要望・提案が実名・顔写真付き
3. メリハリ、「ピックアップ方式」
4. 問題提起型特集
5. 見出し、ビジュアル、訴求力

「読まれる議会だより」

興味・関心を喚起する企画テーマ・切り口

4大企画+特集

編集スキルの向上

### 議会広報の進化 4つの方向性

1. 住民目線の企画編集
2. 「カタイ、難しい」→「読みたくなる」
3. 住民参加・協働の広聴企画で「自分ゴト化」
4. 他の広報媒体と連携・保管・分担へ

## まとめ

議会広報の重要性をあらためて考えさせられる機会であった。

今まさに議会運営委員会では議会の活性化の議論を進めているが、今回の広報研修は広報紙の編集にとどまらず、議会の活性化がテーマであったと思う。

読まれる議会広報にすることで町の情報を伝え、町民のまちづくり参加を促すことは、住民自治と議会活性化につながるのには確かであると思う。

町の課題を整理して、町民の関心を引き付ける企画が必要であろう。

レイアウトやタイトルのつけ方、写真の活用など、編集スキルの向上はもちろん、講演の中では、広報を身近に感じてもらうヒントもあった。新有権者へのインタビューや議会毎にモニター意見をいただくなど、町民が登場する場面を多くすることは一つの方策だろう。

町の広報が伝える情報が決定後の政策であるのに対し、議会広報はその政策形成過程を伝えることが主である。その違いを踏まえたうえで読まれる広報づくりを考えてみたい。

令和7年 8月 22日

清水町議会議長

様

清水町議会議員

佐藤 幸一

研修報告書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修名（主催者） 議会広報研修会（北海道町村議会議長会）
- 2 研修日時 令和7年8月19日（火） 議会広報サポーター
- 3 研修先 ポールスター札幌（札幌市） 芳野政明
- 4 研修目的 議会の活性化に資するため。
- 5 成果（具体的に） 議会広報ケイマック

議会の「見直し」&住民の「信頼策」議会広報の基幹と編集  
広報をどうして、作る  
読んでいるのか（対話）を初めに住民とのつながり。

議会広報の役割。住民の福祉や暮らしに関わる議会の活動  
状況も知らせ 政策・制度への関心高める議会が何を  
しているのか、知ってもらおう。

- ※ 住民と情報共有
  - ※ 住民と対話促進
  - ※ 議会に関心高め
  - ※ 議会の活性化へ
- 住民と議会との関わりを役割  
住民へのきいた政策制度  
広報活動を通じて関心と理解参加。  
広報を通じて活動活性化を図る。

1. 身近で遠い議会…住民にどう存在感ある議会  
自治体選挙に見られる近年の投票行動  
●投票率低迷、無投票●

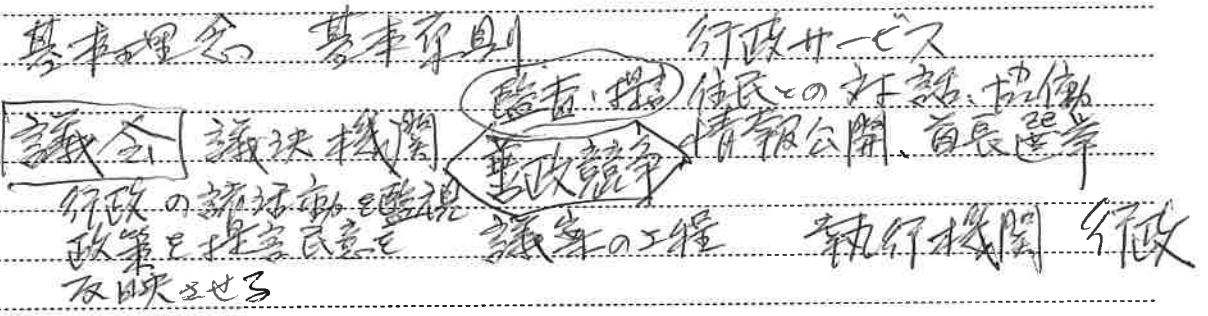
議員の利権不足 など深刻化  
“議会の信頼性が問われる事態に”

2. どうすれば 議会の信頼が取り戻せるか

地方議会はいずれ、議員の多様化をすすめるために  
議会はその役割を果たすための3つ条件を満たす必要がある

- 又1, 住民各層の意見反映, 議会の多様性
- 又2, 監視機能や提言機能の発揮, 議会活性化
- 又3, 公聴会等と情報共有, 住民との信頼獲得へ

地方自治の本旨(憲法92条) 団体自治と市民自治  
 住民(自治の主体, 担い手)  
 自ら地域のまちづくりに参加, 協働,  
 住民参加の促進  
 意見交換, 公聴会等 意見/請願陳情



3, 議会は本原則に「X」的」性格を持つ  
 自治体議会は民意を映す, 公聴的役割  
 決定にいたる過程を住民にありませしめる  
 公報機能を持つ本質,  
 地域の各階層から生じる住民ニーズ(民意)を  
 広く自治体行政に反映させる住民自治の窓口  
 議会の諸活動が住民にわかり, 批判や賛同  
 の応答が共有される関係は地方議会制度  
 にかかせない。

4. 自治体の2大情報の特徴・伝達  
 公報情報 決定の周知  
 政策情報 政策決定「前」 公開, 共有,  
 不可欠の基幹,  
 自治の担い手の育成

5. (地方議会) 本来的課題とは  
 自治体議会単独立法機関 議事機関ではない  
 情報, 意見の集約機構としての議会

- ① 政治争点の暴露、公開
- ② 政策情報の暴露、公開
- ③ 政治家の訓練、選別
- ④ 長、行政機構の監視
- ⑤ 政策の立案、改良、評価

政策課題に関する情報共有が住民自治の大前提

6. 議会広報とは 行政広報に劣る重要な役割  
自治体の政治を公開し、議会が住民に近づく手段。

7. 広報は Public Relations の日本語訳  
団体と住民の良好な関係づくり

聴く(公聴) 知らせ(広報)  
事実や意見をありのままに 発信、受信、共有。

8. 開かれた議会への2大要件

- ① 住民の「意見を聴き」反映させる議会
- ② 住民の「見える化」分けやすい議会

Part 1

議会からの発行の目的、役割

目標を以て編集活動 → 住民自治の推進に貢献  
発行、対話、活用、展開 住民協力、編集に反映

9. 住民参加を「促す」議会広報

〈住民が主体的にかかわる議会に〉  
情報存心に参加する

10. 優劣誌の共通点

1. 住民に読まれる議会がおり、

2. 議会からの報告は議員からだけでなく住民の意見要望

・ 提案が実名、顔写真を付でかき入れ、議会とつながるきっかけとなる企画掲載が増えている

・ 議事録型の単一的な報告ではなく、読者の一体感や住民の「自分ごと」にある効果がある

・ 議会視点で自治体の重要事項を取りあげ、住民の

見、要望、提案を反映させた特集や広聴企画の増加傾向、監視、提案機能の発揮に進化が有りあり

優れた企画編集を参考に「読者、仕切る議会がより、独自の工夫で刷新と動かし事が重要。

### 11. 「読まれる議会だより」の企画編集

A 興味、関心を喚起する企画テーマ・切り口、  
住民が知りたがる事、独自のテーマ、公開、報告、諸活  
動の報告、意見の聴取、対話等、

B 読まれる紙面へ編集スキルの向上  
スキルを磨き住民が「読みたい紙面」へ進化  
充実へ

### 12. 議会広報の進化へ4つの方向性

- ① 住民読者を念頭に住民目線の企画編集を
- ② 「かたい、難しい！」から「読み易い情報誌」へ
- ③ 住民参加、協働の広聴企画で「自分ゴト化」へ
- ④ 他の広報媒体と連携、補完、分担を駆使へ

## Part 2. 議会広報の編集方法、企画、制作

読者が主人公、住民目線の編集

住民によりよ、政策、制度へ議論による意思  
形成の見えさせ。

住民 ↔ 行政 ↔ 議会

### 13. 編集方針: 目的、目標を以て企画、編集

住民目線の編集、透明性・存在感、視線誘導、わかりやすい読みたくなる紙面。

議会の4大機能から4大企画+特集

① 住民登壇、民意反映の紙面

② 議事審議の可視化

③ 一般質問

④ 議会活動の記事

議会での企画: 5テーマ

議事審議 調査・研究報告 請願・陳情  
の善悪、採否の理由

意見書、決議、視察調査、研修、要望  
意見政策提言とその検証

代表質問、一般質問の要旨

追跡レポート、議会報告会、議会活性化

議会改革に関する報告、意見掲載

各議会の独自性と発輝への企画

企画立案に必要なる要素

1.テーマ、2.わかり、3.切り口、4.素材、5.展開

伝わる広報へ編集のスキルアップ

読みやすく、わかりやすく

メリハリ、バランス、見やすさ

デザイン、レイアウト、見出しで訴求力ある紙面

何を「どの形」伝えるか企画と構成、流れ設計

企画を枚挙にラフ・レイアウト

読みたくなるレイアウト

し何々の要素

- ① 見出し
  - ② 写真および図表
  - ③ リード文
  - ④ 記事、本文
  - ⑤ 余白の活用
- 5つのタイプ

写真セロ

外向き写真

1ド、とじ穴 での重なり

エタツ

両流中、飛び越え

写真に対する法的確信 (写真存じにつける説明文)

見出しで読者を引きつける

見出しのふい、自立させること(ツカミに)

本文への案内「ガイド役」

一瞬で読者の心をつかむ見出し

記事の最重要点を見つける作業、キーワードを見つける

具体的な要点が的確に見出しを

金額見出しは訴求力なし

見出しの長さは 1行15字以内

見出しの文字数と文字の大きさ

見出しの表現、自立させる

文字を太くする、大きくする、写真、イラスト、4行解き

地紋、色を装える、白抜き、枠をデザイン化する

記事、文章の注意点

わかりやすい、達意の文を

正確、簡潔、平易 達意の文をゆです

許さない、伝えたいことを端的に述べる

編集執筆には「捨てる」ことが伴う。

洋数字使用にルールあり

※ コンテンツ別の進化

住民に議会が伝わる企画編集

表紙のこと

1. 手にとりたて字の表紙

読者の目を引く。(アキヤツ)

視覚的に惹きつける... 写真、絵画、イラスト、■ 筆

×メッセージ性

季節感

2. 今号の「おすちめコンテンツ」の表紙

見出し

表紙コンテンツは中身。「見出し」を出す

予算、決算は議会報告で最重要企画

予算の概要を報告

予算審査、討論など議事公開

予算審査の報告

議案とその審議を伝える

委員会活動も伝える

意見交換会などの反映

一般質問のフォーマット(+独自企画)

一般質問 Q&Aの記事、見出しの注意点

質問の趣旨が不明確、焦点が迷っているもの

(1) 監査質問<監視・チェック質問>

(2) 政策提言質問<提案質問>

見出しの字数は瞬時に読み取れる

「追跡」は提言、監視 (15字以内)

機能発揮の議会報版。

請願、陳情、意見書のあつかい

請願書名、趣旨、紹介議員名、討論の

内容、賛否結果等をわかりやすく掲載する

採否「理由」(多数意見)を明示する

議会制度や運営に、用語解説

を聴企画、住民登場を多彩に。